

MICRO ACEの新製品

鉄道模型マイクロエース

平成 年 月

株式会社マイクロエース

製品の仕様・価格・発売時期は予告なく変更することがありますので、予めご了承願います。

A2171 北総開発鉄道7000形 無線アンテナ装備 6両セット

予価:20,400円(税別)

JANコード:117606 カートン内入数:12

A1364 北総開発鉄道7150形 改良品 8両セット

予価:25,000円(税別)

JANコード:131138 カートン内入数:12

商品形態 Nゲージ塗装済完成品(素材:ABS樹脂製 対象年齢:14歳以上 ブックケース入り)

実車

1972(昭和47)年、千葉ニュータウン開発の一環として設立されたのが北総開発鉄道です。1979(昭和54)年3月に北初富～小室間の開業に伴って登場したのが7000形で、Σ型の前面形状、固定窓の採用や吊り革のない車内など、斬新な設計で大きな衝撃を与えました。また、日本で初めてカットニングシートを車体装飾に使用したことも特徴です。登場当初は6両編成で新京成線北初富～松戸間へ直通乗入れ運転を行っていましたが、1991(平成3)年の第二期線開業を控え、1989(平成元)年より順次京成線、都営線、京急線への乗入対応工事や8両編成化が行われました。

1991(平成3)年、北総開発鉄道(現:北総鉄道)では第2期区間の開業に伴って不足する車両の一部を、京浜急行電鉄(現:京急電鉄)から1000形の譲渡を受ける形で賄うことになりました。7155-7158の編成は1994(平成6)年に側面ドアがカラフルな色に塗られました。海側は暖色系、山側は寒色系で統一され、2年後にはペアを組む7151-7154の編成も同様に装いを改めました。

商品概要

- ・マイクロエース私鉄電車シリーズの更なる充実
- ・ヘッドライト、テールライト点灯(LED使用)。
- ・フライホイール付動力ユニット搭載

Σ型の前面形状。北総開発鉄道7000形

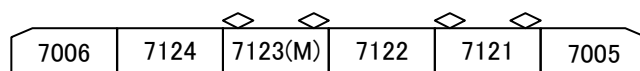
・新京成乗入時代の6両編成を製品化

・先頭車屋根上にはIRアンテナとSRアンテナを装着



北総鉄道株式会社許諾済

編成図(A2171)



ライト  
←松戸・北初富

ライト  
千葉ニュータウン中央→

元京急1000形。シルバーのボディに24色の扉

・異なる2種類の台車を使い分け(OK18、TS310)

・7151、7152はTS310装備

・24色の扉の色を鮮やかに再現

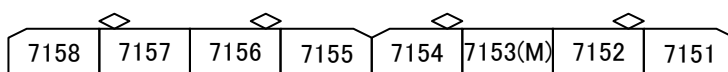
・ライトON-OFFスイッチ付

※部品共用により7151と7154の側面方向幕形状が異なります



北総鉄道株式会社許諾済

編成図(A1364)



ライト  
←羽田・高砂

ライトライト

ライト  
印西牧の原→

オプション

幅狭室内灯:G0005/G0006/G0007/G0008, マイクロカプラー自連・灰:F0004

付属品

行先ステッカー